



# 看護 とちぎ

ーナースセンターニュース合同号ー



鎌倉山（茂木町）

## CONTENTS

- 2 会長あいさつ
- 3 理事あいさつ 新年の抱負
- 4 平成28年度理事会の動き
- 5 看護関連事業に支援を  
栃看協、県へ要望書を提出
- 6 平成28年度地区支部活動報告
- 7 第20回栃木看護学会学術集会報告  
実習指導者講習会事業報告  
看護職確保定着(WLB)推進委員会活動報告
- 8 看護大会準備委員会事業報告  
新人看護職員応援研修委員会事業報告  
認定看護管理者教育委員会 活動報告  
訪問看護教育委員会活動報告
- 10 研修受講者の感想
- 12 “看護職のサポーター”栃木県ナースセンター
- 13 A子さんの看護職届出から再就職までの一例
- 14 平成28年度看護職員再就業支援研修  
「看護職の相談こ～な～す!」出張無料相談コーナー
- 15 訪問看護師養成講習会を受講して  
平成28年度「看護の出前授業」
- 16 平成28年度「ふれあい看護体験」を実施しました。  
第31回栃木県看護大会 第27回「看護の日」記念行事を開催!
- 17 こんな活動しています シリーズ12
- 18 私の職場の好きなところ シリーズ47
- 19 一般の方へのコーナー ロコモってご存知ですか?
- 20 味自慢・わたしのon-off・お知らせ・編集後記

※黒字は看護協会のページ、青字は栃木県ナースセンターのページです。

会員数 11,080人 (H28.12.13現在)

保健師	538人 ( 20人)
助産師	330人
看護師	9,411人 (796人)
准看護師	801人 ( 67人)

男子は( )で再掲

# 新年あいさつ



公益社団法人栃木県看護協会

会長 **渡邊 カヨ子**

看護協会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様に置かれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新「会員管理体制－ナースシップ－」が始まり、会員の皆様にはご協力を賜り心より感謝申し上げます。この変革は、長年アナログで対応していたものを、未来を見据えて効率化等を目的にシステム化したものです。看護管理者の方々や、理事から「会員が減少するのではないか」という懸念する意見も頂戴しました。しかし日看協を拠点として動きだしたシステムでございます。どうにか乗り切りたいという思いで、当看護協会事務局の担当者も実施してまいりました。今年はこれらのことを踏まえて、会員のメリットとなるような方策を打ち出し、入会促進を図っていきたくと考えております。会員の皆様にも入会勧誘などへのご協力をお願いいたします。

さて、国の政策により地域包括ケアシステムが栃木県においても着々と進んでいるところがあります。しかし行政や関係団体の会議を通して見えてくるのは、担当制による縦割りの状況であります。平成29年度にどの程度まで横串を通すことができるのか？「点から線、線から面」とよく言われますが、現状としては「なかなかイメージがつかない」といったところだろうと思います。

一方、私は昨年会長に就任するとともに、各地区支部会議に参加させていただいております。その中で感じることは、地域差はあるものの地域包括ケアシステムを踏まえた意識改革が進んでおり、着実に行動化されてきているということです。地域密着で情報収集をして課題発見、そして対策検討は多職種連携で行う。このプロセスを効率的に行うためには保健師や訪問看護ステーション等の看護職がコーディネーターを担うことが必要といえます。看護職能団体として地域での活躍を期待するところであります。

最後に会員の皆様が専門職としての自信と誇りを持ち、様々な場所で活躍できるよう応援してまいります。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 理事あいさつ

## 「新年の抱負」

### 副会長 朝野春美

本年も会員の皆さまと共に知恵を出し合って、栃木県看護協会の役割を果たしていきたいと思ひます。

### 副会長 塚本由紀子

今年度の看護大会・看護の日の記念行事が盛会に開催することが出来ますように、役割を果たしていきたいと思ひます。

### 常任理事 馬込公子

明けましておめでとうございます。今年も引き続き局内をはじめ関係する皆さまと連携を密にして活動してまいります。

### 助産師職能理事 佐藤君江

県民の皆さまが安全に出産・育児ができ、また、会員の皆さまが働きやすい環境で仕事ができますよう努力してまいります。

### 理事 村上充子

会員の皆さまにさらに頼られる看護協会をめざして、活動していきたいと思ひます。

### 理事 小澤伸子

安心して暮らせるために地域との連携をさらに強化し、一歩ずつ目標に向かい進んでいきたいと思ひます。

### 理事 糟谷真知子

創意を凝らし多職種と連携しつつ、地域における看護職の役割を確固たるものにするよう尽力致します。

### 理事 河原美智子

私自身が元気で楽しく仕事をし、看護職者全員が生き活きと働きたいと感じられる職場環境づくりに務めます。

### 理事 桜井美恵子

新しい年を迎え、今年も明るく、楽しく、仲間と一緒にあれこれ話をしながら体調良く過ごしていきたい。

### 理事 駒場悦子

『即今、当処、自己』仕事を立て込む時こそ自分自身をコントロールし、後回しや後悔を回避したいと思ひます。

### 監事 山口久美子

丁酉は「果実が極限まで熟した状態」の年、これまでの過程を踏まえて誠実に進んでいければと思ひます。



### 専務理事 菊池園江

看護職能団体として強みを生かし、会員のみなさまと共に地域住民の健康づくりを推進していきたいと思ひます。

### 保健師職能理事 五月女祐子

今年は年女！人生の分岐点を間近に控え、看護職としての次の一歩をどう踏み出すか、考える年にしたい。

### 看護師職能理事 齋藤由利子

「一生勉強」「一生青春」私の大好きな言葉です。今年も、目標に向かって挑戦し続けます。

### 理事 関根照代

【戒驕戒躁】「驕らず焦らず騒がず、慎んで静かに堅実に」そんな風に一年を過ごしていけたらと思ひます。

### 理事 谷田貝理恵

変化を楽しみながら、「声を形にする」ことを目標に活動します。

### 理事 仁戸部富恵

目標に向かって、何事にもポジティブに前進あるのみ！がんばります。

### 理事 高橋美知子

地域・医療・福祉のネットワークを強化し、地域住民の健康づくりや在宅医療推進に努めたいと思ひます。

### 理事 細野克子

看護人生の集大成として「看護の醍醐味」を伝承しながら、会員の皆さまのために尽力いたします。

### 理事 坂上和江

報恩謝徳。穏やかな気持ちで、心に笑顔の数を増やせるよう、努めていきたいと思ひます。

### 監事 荒木 剛

若い頃に比べて体重と血圧が増えました。今年は危機感をもって、両方とも数値を下げようと思ひます。



# 平成28年度 理事会の動き

専務理事 菊池 園江

## 第1回理事会 平成28年5月23日（月）

### I 協議事項

- 1 定款、定款細則の改正について
- 2 平成28年度通常総会について
- 3 平成27年度定例監査報告について
- 4 事務局長の任免について
- 5 「平成28年熊本地震」に係る義援金について

### II 報告事項

- 1 会員数の報告
- 2 日本看護協会理事会報告
- 3 業務執行理事報告  
(1) ナーシングホームあしかがの開所について
- 4 委員会および地区支部報告

## 第2回理事会 平成28年6月18日（土）

### I 協議事項

- 1 役員の選定について
- 2 役員報酬について
- 3 常任委員会及び特別委員会の委員について

## 第3回理事会 平成28年8月8日（月）

### I 協議事項

- 1 平成28年度事業報告（6月末）について  
(1) 健康普及啓発・人材育成事業  
(2) 訪問看護・居宅介護支援事業  
(3) 資金収支予算実績比較表
- 2 県への要望事項について

### II 報告事項

- 1 会員数の報告
- 2 日本看護協会理事会報告

## 第4回理事会 平成28年10月3日（月）

### I 協議事項

- 1 平成29年度事業執行方針について  
(1) 平成29年度重点事業（案）  
(2) 予算編成
- 2 平成29年度栃木県看護協会総会の日程について
- 3 ハラスメント防止等規程（案）・ハラスメント委員会規程（案）について
- 4 事務局長の任免について

### II 報告事項

- 1 会員数の報告
- 2 日本看護協会理事会報告
- 3 業務執行理事報告  
(1) 栃木県医師会役員と栃木県看護協会役員の懇談会について

## 第5回理事会 平成28年12月5日（月）

### I 協議事項

- 1 平成28年度事業報告（9月末）について  
(1) 健康普及啓発・人材育成事業  
(2) 訪問看護・居宅介護支援事業  
(3) 資金収支予算実績比較表
- 2 融資当座貸越の申し込みについて
- 3 公益社団法人栃木県看護協会会計処理規程（案）の改正について
- 4 日本看護協会名誉会員候補者の推薦について

### II 報告事項

- 1 会員数の報告
- 2 日本看護協会理事会報告
- 3 業務執行理事報告  
(1) 平成28年度補正予算について  
(2) 四師会による災害時の医療救護活動に関する協定に基づく訓練について

### III その他

- 1 地区支部組織の再編について
- 2 平成29年度予算の課題について

## 看護関連事業に支援を

### 栃看協、県へ要望書を提出

栃木県看護協会（渡邊カヨ子会長）は10月31日、看護関連事業に関する支援を求める栃木県知事あての要望書を近藤真寿県保健福祉部長に手渡し、要望内容について説明し支援を求めました。

人々がどのような健康状態であっても、住み慣れた地域で生活できる社会を目指して、地域包括ケアシステムの構築に向けた様々な施策が進められています。本看護協会は質の高い看護職の育成、地域包括ケアシステムの構築をそれぞれの地域において着実に推進するため、在宅療養者とその家族を支援する訪問看護の充実、安心で安全な医療・看護の提供に直結する看護職の勤務環境の改善に継続して取り組んでいます。少子超高齢社会その後の多死社会の到来を控えた社会の要請に応えるため、これまでも増して看護職の資質向上や看護サービスの体制整備、就業支援を要望しました。

要望会場には県保健福祉部の関係各課長らも出席して、本協会の要望について意見交換が行われました。近藤保健福祉部長から要望の趣旨を踏まえた検討をするとの回答がありました。本協会からは渡邊カヨ子会長をはじめ菊池園江専務理事、馬込公子常任理事、鱒淵清子統括所長が出席しました。

要望の内容は次の4項目です。

#### 1. 質の高い看護人材育成のための教育・研修の充実

- (1) 災害支援ナースの育成への助成
- (2) 新人看護職員研修支援拡充及びサポート体制整備
- (3) 介護施設で働く看護職に対する研修体系の確立
- (4) 助産師出向事業の継続
- (5) 准看護師の進学支援の予算確保

#### 2. 看護職の働き続けられる職場の環境づくりに関する事業の支援

- (1) ワークライフバランス推進サポート事業への継続支援
- (2) 看護職員の届出制度の普及・啓発

#### 3. 在宅医療推進における看護提供体制整備への支援

- (1) 在宅におけるITCの推進
- (2) ナーシングホームあしかが運営の充実
- (3) 病院看護師を対象とした退院支援関連研修の充実
- (4) 在宅看取りを推進するための訪問看護師研修の充実

#### 4. ナースセンター事業の強化

- (1) 相談窓口拡充に伴う運営支援



近藤真寿保健福祉部長（左から2人目）に  
要望書を手渡す渡邊カヨ子（左から3人目）



# 平成28年度 地区支部活動報告

## 宇都宮地区支部活動報告

### 平成 28 年度 宇都宮地区支部活動報告

宇都宮地区支部長 矢口 千秋

宇都宮地区支部は 58 施設 2,639 名の会員で構成されており、看護に関する教育・研修および相談事業を実施しております。今年度の研修会は「診療報酬」「スキンケア」、共催研修として「健康作り講座」「認知症看護」を開催し、会員の多くの方にご参加頂きました。また「まちの保健室」はほぼ毎月開催し、地域住民の皆さんの健康相談に対応しております。相談者の中にはリピーターの方もおり、「まちの保健室」を身近に感じ頼りにされていると実感しております。今後も会員の皆様、地域の皆様に貢献できればと思っております。



を身近に感じ頼りにされていると実感しております。

## 県西地区支部活動報告

### 県西地域での看護力向上をめざして

県西地区支部長 渡邊 悦子

鹿沼・日光地区の 23 施設 703 名、個人会員 15 名、計 718 名の会員で構成される当支部は、駒場理事と役員 9 名を中心に活動してきました。

主催研修では、地元認定看護師を講師に『スキンケア』『認知症看護』研修会を実施、非会員を含む看護・介護職等 94 名が参加しました。まちの保健室には 13 名の会員が協力し 267 名の県民の健康相談に応じました。また、共催研修会では、一般市民や関係者等と『長寿社会におけるエンドオブライフケア』について学ぶなど、地域住民や同じ地域で働く看護職同士のつながりを深めることに貢献できたのではないかと自負しています。



県西地区では、従前から地区支部内看護管理者等連絡会が開催され交流が図られてきました。これからも看護力アップと



同時に地域ケア力の向上をめざし、当地域に求められる活動に努めて行きたいと思えます。会員・関係者の皆様のさらなるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 県東地区支部活動報告

### 平成 28 年度 県東地区支部活動報告

県東地区支部長 戸崎 敦代

平成 28 年度は、スキンケア・認知症看護・在宅医療、共催研修としてメンタルヘルスクエア・赤十字健康生活支援講習を行いました。まちの保健室は、高校の文化祭に参加し、学生や保護者の方々を対象に健康の相談を受けました。在宅



医療に向けた医師会の研修会や会議に参加し、地域包括ケアに向けての取り組みに協力しています。今後も他職種と協働し地域のために、看護協会員としてできる活動をしていきたいと考えています。

## 栃木地区支部活動報告

# 平成 28 年度 栃木地区支部活動報告

栃木地区支部長 高岩 和枝



栃木地区支部は 33 施設と個人会員を合わせて 1,648 名の会員で構成されています。今年度は、初めての事業「栃木地区支部交流会」を開催しました。内容は、新築移転したとちぎメディカルセンターしも



つがの見学会、自分の職場や地区支部内の連携についてグループワークを行いました。参加者からは、顔の見える交流ができ今後の働き方に大変参考になった、看護職間の連携がさらに進むとよいという感想をいただきました。次年度は、地区支部内の連携をさらに強化し、地域に密着した取り組みを考えております。ご協力よろしくお願いたします。

## 小山地区支部活動報告

# 平成 28 年度小山地区支部活動報告

小山地区支部長 菅篠 史枝



小山地区支部活動の柱は、各種研修会の開催とまちの保健室への参加です。

超高齢化が進むなか、団塊の世代が 75 歳を超える『2025 年問題』を見据え医療・看護・介護のあり方も変革の時期にきています。多職種連携の推進を図るよう、今年度から、小山地区他職種連携研修会への後援を開始し、小山地区支部役員が参加しスキルアップをめざしています。今後その学びを看護協会の地区支部活動を通して、他職種連携が図れるよう有効な活動をしていきたいと思ひます。

平成 28 年度は「膝関節のお話」「認知症看護」「スキンケア～実践編～」などの研修を企画し開催しました。地区支部では多くの看護職や介護職の方々にも興味を持って参加してもらえるような研修会を企画し、会員同士の交流や会員増加にも貢献したいと考えています。

また「まちの保健室」の活動については、毎年地域健康都市おやまフェスティバルと上三川町健康福祉まつりに参加し、住民の健康支援を行っています。

小山地区支部の活動目標である①研修の充実②看護協会への加入促進活動の実施③保健活動の強化ができるように各施設の役員が連携して活発な地区支部活動を展開していきます。今後とも、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

## 県北地区支部活動報告

# 顔の見える連携

県北地区支部長 相馬 幸子



地域ネットワークづくり、看護者レベルアップ研修、次の世代の新しい看護者を育てる活動を行っています。

昨年も地域ネットワークづくりに力を入れてきました。県北地区で築かれた地域毎のネットワークの活動をさらに推進するため、医師会との合同研修会とおし情報交換会を行いました。お互いの顔を知ることは重要であると実感しています。

まちの保健室での新しい試みとして、高校の文化祭で白衣試着・血圧測定体験を通し、看護の道をご案内しました。



研修会は、5 つの研修と 1 つの市民講座を開催、定員を超える申し込みを頂き好評でした。今後も看護者の知識の向上と市民の健康づくりに貢献して行きたいと思ひます。

## 安足地区支部活動報告

# 地域に根差した活動を目指して

安足地区支部長 山田 哲子



今年度の研修は、「職場のメンタルヘルスケア」「スキンケア（実践編）」在宅医療推進住民啓発市民公開講座として「地域生活を営む認知症患者の支援」を開催しました。2 月には「認知症看護」の研修会を予定しています。また、地域住民の健康づくりとして、



地域のイベントに参加し、「まちの保健室」を 4 力所で開催しました。

今後は地域包括ケアに向けて、看護の役割を認識し実践出来る研修会を企画し、看護職と多職種との連携を強化し活動して行きたいと思ひます。



## 第20回栃木看護学会学術集会報告 栃木看護学会学術集会を終えて

栃木看護学会企画委員長 内田 暁子



平成28年11月15日、第20回栃木看護学会学術集会が開催されました。発表演題数は口演17題、示説6題、参加人数は856人でした。学術集会のメインテーマ「広げよう つなげよう 看護の力ー『地域包括ケアシステム』における看護の役割ー」として、鱒渕清子集会長から口演をいただきました。地域包括ケアシステムの構築において、看看連携を基盤とした多職種連携によって、地域の人々の医療と生活をつないでいくことが重要であり、また看護の役割であることを再認識できました。シンポジウムでは、「医療と生活をつなぐ看護の役割」と題し、各現場でご活躍されている4人のシンポジストから発表をいただきました。また、ランチョンセミナー2題にも多くの参加をいただきました。

このたび第20回というひとつの節目を迎えたことから、今後の学術集会のあり方を見直し検討していきたいと思っております。学術集会開催にあたり、ご支援ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



## 実習指導者講習会事業報告

実習指導者講習会委員長 伊藤 恭子



平成28年度の実習指導者講習会は、皆様方の御支援のもと36名の受講生が修了されました。実習指導者としての役割の理解から指導案の作成、グループ演習など、臨床での指導に役立つカリキュラム内容に対し学びを深められていました。演習発表会では、特に学生を褒めて育てるプラスのストローク指導、戸惑いやすい学生に対応させた実習指導の改善、学生の成長過程を見守り育てる実践教育の質向上など、受講生から多くの示唆や課題への取り組みについて学ばせていただく貴重な機会となりました。

講習会後のアンケートにおいて、ほぼ全員の受講生が「研修で満足が得られた」「実践に活かせる期待していた研修内容だった」「問題解決の糸口が得られた」と、講習会の成果を実感しております。今後さらに発展的指導へとつなげられ、臨床と学校間のスムーズな連携、協働の継続を期待しております。御協力いただきました皆様方に心より感謝いたします。



## 看護職確保定着（WLB）推進委員会活動報告 —活き活きと看護職として輝くために—

看護職確保定着（WLB）推進委員長 細野 克子



本事業の目的は、看護職が働き続けられる職場づくりをおこなうことです。それも「活き活きと」です。平成23年度から日本看護協会と協働し、既に11施設が終了しました。日本看護協会から3年間にわたる大いなる決断と高い志に対し、それは素晴らしい「カンゴサウルス賞」を授与されています。

現在、12施設が取り組んでいます。インデックス調査の結果から自施設を量と質で分析し、アクションプランを具体的に立案し職場環境を変革しています。今年度もワークショップに多職種の参加者が多数ありました。看護職と共に「仕事と生活の調和？ バランス？」「どうしたら良いものか？」と真剣にディスカッションしました。

聴講者の声です。「既に参加した施設から来ました。当時は理解できず、管理者のものと思っていました。しかし私達のために真剣に考えて下さっている…」と涙ぐんで語ってくれました（複数人）。嬉しい一言でした。「看護職として輝ける」と確信した瞬間でした。

**平成29年度「ワーク・ライフ・バランス事業」に参加される施設募集中!!**

お気軽に栃木県看護協会までお問い合わせください。







## 看護大会準備委員会事業報告

看護大会準備委員長 塚本 由紀子



栃木県看護大会は、参加者数 1,622 人（内訳：看護職 954 名、看護学生 312 名、一般県民 93 名、高校生 12 名、小学生・幼児 46 名、関係者 205 名）と昨年より 252 人も多く参加していただき盛大に開催することができました。

記念講演には広澤克実先生をお迎えし、「夢へのチャレンジ」～我が野球人生 野村・長嶋・星野監督に学んだこと～と題し講演を頂きました。講師が有名な本県出身の元野球選手であることから熱心に耳を傾ける男性の参加者もあり好評でした。

まちの保健室では、助産師職能委員会の配置を 1 階に変更したところ 36 名の参加者にゆっくりとハンドマッサージを行うことができました。また、どのブースも昨年同様に多くの方に参加を頂き関心の高さに感激しました。

今回から、参加者へ昼食を提供することができずでしたが、参加団体のご理解とご協力をいただき一日無事に終了しました。次年度は、指揮命令系統を明確にし、迷わずに進行ができるように準備を進めたいと考えています。



## 新人看護職員応援研修委員会事業報告

新人看護職員応援研修委員長 松本 洋子



新人看護職員応援研修委員会は、大きく 4 つのコースに分け、全体で約 330 名の参加のもと開催しました。

新人看護師を対象とした多施設合同研修は『多施設との交流を通し仲間をつくる』と題し、ツインリンクもてぎで宿泊研修を実施しました。新人看護師同士の施設を超えた相互交流を通し参加者から「不安、悩みを共有し、リフレッシュすることができた」「明日からまた頑張りたい」等の言葉が聞かれ、宿泊研修だからこそ得られた感想であると感じています。実地指導者は、『新人のメンタルサポートと指導者としてのストレスマネジメント』、教育担当者は『新人をどう育てていくか ～人を育て自分を育てる～』、研修責任者は『施設における人材育成と教育体制の現状と課題』、をテーマに研修会を開催し、それぞれが実践に活かせる内容であり有意義な研修でした。

今後も新人看護職員の定着に向けた研修と、それぞれの研修目的を達成するための研修を開催できるように努めていきたいと思っております。



## 認定看護管理者教育委員会 活動報告

認定看護管理者教育委員長 山口 久美子



認定看護管理者教育委員会では、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理者の資質と看護の水準の維持向上に寄与することを目的に、ファーストレベルとセカンドレベルの運営を行っております。

<ファーストレベル>

ファーストレベルは平成 28 年 9 月 26 日～12 月 20 日までの 27.5 日間（165 時間）開催されました。受講生は 31 施設から 89 名、平均年齢 41.5 歳でした。12 月 20 日の最終日の課題演習発表会は、各々の課題について活発な意見交換がされていました。修了された皆様の 1 人でも多くの方のセカンドレベル受講をお待ちしています。

<セカンドレベル>

セカンドレベルは平成 28 年 6 月 23 日～9 月 21 日までの 32.5 日間（195 時間）開催されました。受講生は 19 施設から 27 名、平均年齢 48.7 歳でした。9 月 21 日には統合演習の看護管理実践計画発表会が行われました。その計画に基づいて、職場での実践の成果を発表する経過報告会を平成 29 年 2 月 17 日（金）に予定しています。セカンドを受講しようと考えている方・興味のある方は、奮ってご参加ください。

研修の運営にあたり、ご協力・ご支援していただきました皆様に感謝申し上げます。



## 訪問看護教育委員会活動報告

訪問看護教育委員長 鳥居 香織



超高齢化社会を目前にした今、在宅医療の推進と地域包括ケアシステムの構築が急務となっています。そして、訪問看護師はその両輪の中心的役割として生活と医療の両面からの支援が期待されています。在宅で療養されている人々は在院日数の短縮化等から状態が不安定なまま退院になる人、医療的処置が必要なまま在宅療養を継続される人、癌・非癌を問わず在宅で終末期を過ごしたいと考えている人等、様々な問題を抱えている現実があります。教育委員会では、このような時代背景も踏まえ、今年度も訪問看護師養成講習会、ALS 患者等在宅療養支援研修会、在宅ターミナルケア研修、新人研修を企画・運営して参りました。いずれの研修においても、熱心に、真摯に取り組む姿を見て、利用者様に寄り添う優しい姿と重なり、研修での学びがケアの実践に役立つ事を確信しています。また、忙しい業務の中、研修に送り出して下さった各事業所の皆様、ありがとうございました。



# 研修受講者の感想



## 認定看護管理者教育課程セカンドレベル

開催日／6月23日～平成29年2月10日  
参加者数／28名

### セカンドレベル教育を受けて

自治医科大学附属病院

小畑 美加子

栃木県でのセカンドレベルの研修が始まり11期生となる今年度は、19施設から28名の参加者が集まりました。19施設の規模や機能は様々であり、地域における自施設の役割を再確認しています。6月から9月は、医療経済論など4教科目を学び、グループワークを通して自己の

課題に対する看護管理実践計画を立案しました。研修中の不在時に部署を支えてくれているスタッフに感謝し、2月の看護管理実践経過報告会で演習支援者や28名の仲間と再会できるように頑張っています。



## 職場のメンタルヘルス

開催日／8月4・5日  
参加者数／133名

### 職場のメンタルヘルスを受講して

那須中央病院

齋藤 李香

研修に参加し興味深かったことは、アサーティブ（自己表出－他者配慮）な関わりがより良い人間関係を築き、その結果メンタルヘルスケアやより良い看護に繋がるといことです。伝えたいことは同じでも相手を主語にすると攻撃的・否定的に認知されやすいため、相手の話をよく

聞き、感情を知り相手を配慮しながら、自分の率直な感情・意見を、自分を主語にして表現することで肯定的な意見になることを学びました。今後いろいろな場面でアサーティブな関わりができるよう自己研鑽していきたいと思います。



## 認知症患者の理解と看護実践

開催日／7月19・21・22日  
参加者数／127名

### 認知症患者の理解と看護実践

藤井脳神経外科病院

石井 明日香

本研修に参加して、認知症とせん妄を区別した看護の視点を学んだ。当院の患者では、病態・治療・入院生活の中でせん妄を起こしやすく、高齢の患者も多い。認知症との区別が難しく、せん妄は疾患や薬物に起因するものが多い。治療によって改善が図れることを理解し、原因の除去・症状改善のための看護をしなければならない。認知症看護ではリアリティーオリエンテーションが有効である。時間の流れを景色や時計

を見せながら、さりげなく伝え、見当識を補う方法である。また、認知症の人は言語的よりも非言語的な影響を受けやすい。私たち病院スタッフ全てが環境要因となることを踏まえて、穏やかな、生活リズムをつける対応が大切である。

せん妄患者、認知症患者どちらにおいても、スタッフ全員が正しい情報を共有し、チーム医療で関わる意識が必要であることを学んだ。



## 新人助産師研修会

開催日／9月15日  
参加者数／31名

### 新人助産師研修会に参加して

上都賀総合病院

成田 美奈子

新人助産師研修会では、6人のグループで情報交換や話し合いを行いました。それぞれが、今困っていることや、心境、今後の抱負などについて話しをしました。クリニックや総合病院など働く施設によって、分娩介助件数に大きな差があることを知りました。私はまだ2件の分娩介助しか行っていませんが、クリニックでは、20件の分娩介助を行っている聞き、とても驚きました。環境は違っても、それぞれが不

安や悩みを感じながら切磋琢磨しているのだとグループワークでの交流を通してわかりました。不安を解消していくためには、知識を得なければいけないことや、分娩介助だけではなく、対象との関わり方が重要であることを、先輩助産師からのメッセージを聞くことができました。

日々一歩ずつ、着実に成長できるよう頑張っていこうと前向きになれる研修会でした。



## 現場が変わる！院内研修プログラムの作り方

開催日／8月19・20日  
参加者数／40名

### 現場が変わる！院内研修プログラムの作り方を受講して

新小山市民病院

黒川 由香

今回の研修で、院内研修プログラムの立案・実施・評価の実際を学びました。効果的な院内研修プログラムを立案するためには、現状分析した結果と病院や看護部の理念と関連付け、どんな看護師に育ててほしいのか、育てたい看護師像を明確にすることが重要であると学びました。

また、院内研修の企画・運営には、研修プロ

グラムの立案・実施だけでなく、きちんと評価して今後につなげていく、一連のPDCAサイクルが重要です。研修後には、実践でどのように活かされているのかを評価するなど、評価のあり方についても多くの学びを得ることができました。今後、受講者のモチベーションが高められ、魅力のある研修プログラムを企画・運営していきたいと思えます。



## 准看護師ステップアップ研修

開催日／7月8日  
参加者数／14名

### 夢は自分でつかむもの！ いざ挑戦！

医療法人慈啓会 白澤病院

荒井 紫苑

准看護師として働き3年目となった今年、「准看護師ステップアップ研修」を受講しました。

今まで看護師になりたい、進学したいという思いは頭の片隅にありましたが、なかなか踏み出せずにいました。そんな時、研修に参加し、看護の動向やキャリアアップ、進学の実際、奨

学金等について様々なことを知ることができました。

研修に参加したことで漠然としていた看護師への目標が確かなものへと変わっていきました。また病院からの後押しもあり、今年度受験し、看護師資格習得へ挑戦することを決めました。



# “看護職のサポーター” 栃木県ナースセンター

## 看護職等の離職時届出制度

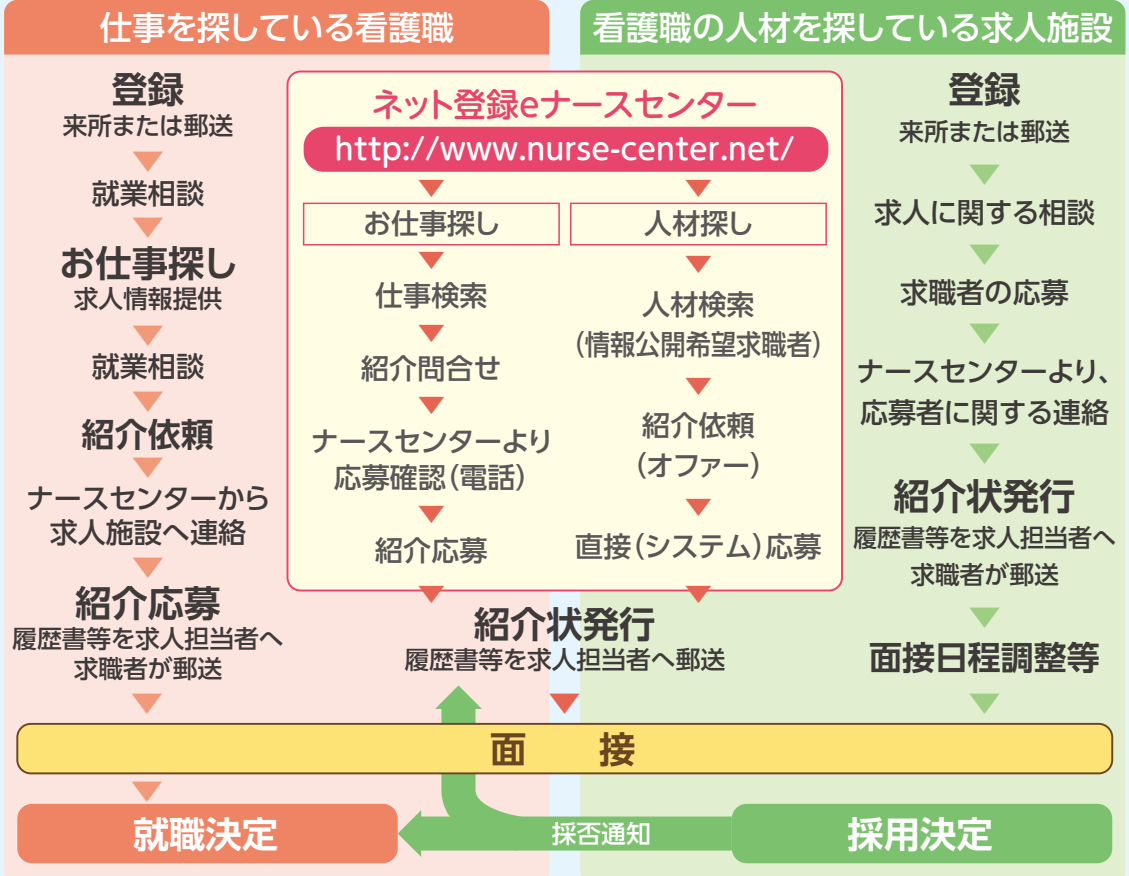
【免許番号】【登録年月日】を用意してスマートフォンで登録しよう!!

看護職の届出サイト「とどけるん」 <http://www.todokerun.nurse-center.net>



## 看護師等無料職業紹介所(eナースセンター) 無料

栃木県から委託を受けた厚生労働大臣認可の無料職業紹介所です。



○来所、電話等で看護職相談員による就業相談を実施中。 ○ブランクがある方には、再就業支援研修を実施中。

※栃木県ナースセンター事業は地域医療介護総合確保基金を財源にした栃木県委託事業です。

お問い合わせ先 **公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター**  
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F



# A子さんの看護職届出から再就職までの一例



A子さんは、子供が3歳になり保育所に入所が決定したことを機に、就職活動を開始し、ハローワークに出向きました。

そこで、「看護職届出制度」のポスターを目にし、スマートフォンから届出が可能であることを知り、自宅に登録することにしました。

## スマートフォンから看護職届出登録


**1** 栃木県看護協会ホームページ

- 「とどけるん」のバナーから新規登録（登録までの流れの表示に沿って行く）。
- 看護師の免許証で**免許番号**と**登録日**が必要なので、免許証を確認します。



**2** 「とどけるん」のサイトでID(メールアドレス)を登録し、メールアドレスに届いた仮パスワードで再度ログインし、自分のパスワードを設定しました。その後、必要事項を登録しながら最後の項目の「ナースセンターが行う無料職業紹介事業への登録を希望しますか」に「希望する」を選択しました。

**4** 栃木看護協会ホームページの「eナースセンター」のバナーの登録完了者用から「とどけるん」登録時のID・パスワードでログインし、求職票の登録方法についてメールに沿って登録を試みました。分かりにくい時は平日、ナースセンター(☎028-625-3831)に問い合わせると、求職票の登録方法・求人検索・問い合わせ・応募方法について説明が受けられるとメールに説明があったので、電話を入れて説明を聞きました。



**3** 翌日、栃木県ナースセンター(以下、ナースセンターとする)からメールが届き、eナースセンターのシステムを効果的に利用するために、求職票を登録するように勧められました。

**5** 電話の内容が理解できないのと、直接相談ができるということで、**とちぎ健康の森4Fにある「栃木県ナースセンター」に出向きました。**

- システム上での求職票の登録、求人票の検索方法、問い合わせ・応募方法を学びました。
- 閲覧コーナーの求人票を確認し、相談員のアドバイスも参考に2件の求人票をコピーしてもらい、自宅で検討することになりました。
- ブランク期間があり、知識・技術が不安であることを相談員に伝え、「**再就業支援研修**」について資料をもとに説明を受け**申込書を記入**して、研修の事務連絡を受け取りました。

**6** 自宅で再度検索した結果、気になった無床の診療所があったので、**施設見学**を希望する旨を電話でナースセンターに伝えました。

**7** ナースセンターから該当診療所の求人が有効(募集中)であり、日時調整の電話対応時間を伝えられ、施設見学後の応募の意思を伝えるように連絡がありました。

**9** ナースセンターに応募する旨を伝えると、システム上での応募するように説明を受け、ナースセンターにメールを送りました。その後、**市販の履歴書に写真を添付し、求人施設に郵送するよう説明を受け、履歴書を郵送し後日施設側から面接日時について連絡を受けました。**

**8** 施設見学時に説明をしてくれた院長に、扶養範囲で働くことが可能かを質問したところ、まずは扶養範囲の働き方として、家族を含めて慣れてきたら勤務時間の延長を検討してほしいと言われました。自宅に戻って夫と相談したところ、できるだけ協力すると賛成してくれました。

**10** 面接試験後に求人施設から「採用」の電話連絡を頂き、ナースセンターにも電話で伝えました。後日、eナースセンターのコンタクト画面にも「採用」の通知が届きました。

**11** 採用日まで時間があり、**再就業支援研修を3コース受け、自信につながりました。**





# 平成28年度看護職員再就業支援研修

看護の知識や技術に不安がある未就業の方や再学習を望む就業中の方を対象に、県内3ヶ所の病院で3コース、年7回開催しています。

今年度は6回まで終了し、20～60代の延べ175名が受講されました。

## 受講者の感想

復職に向けて注射が一番不安でしたが、研修を通して不安が少し解消できました。とても有意義な内容でした。

心電図は難しいと思っていましたが、楽しく学べました。今後の職場で役立てていきたいです。

すぐに実践できることを教えていただけて良かったです。



いろいろな経歴の受講者の方に励まされ、前向きに頑張ろうという気持ちになりました。



実際に医療の手技を行うことで、復職に向けての自信や安心に少しつながったと思います。



## 「看護職の相談こ～な～す!」出張無料相談コーナー

6か所のハローワークで開催中

看護師になりたい! どうしたらいいの?

久しぶりに看護職に復帰したいけど…仕事内容が不安だわ。

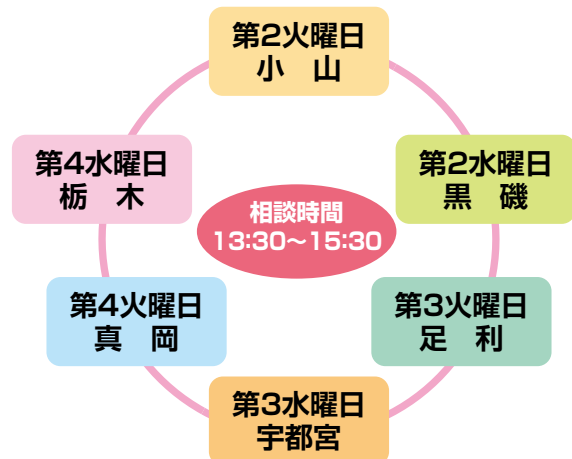
子供を預けて、仕事できるかしら? 育児と家庭両立できるかしら?

昨年度は70件の相談がありました。仕事・悩み・話を聞いてほしいなど、何でも大丈夫です。お子さん連れでも気軽においでください。

### 相談後就業につながった例

ナースバンクに登録し、マッチングメールを受け取らる中で、自分のキャリアを生かせる条件に見合った就職先が見つかり、相談後1か月位で就業につながった方もありました。

※看護職(保・助・看・准)や全般についての相談コーナーです。お気軽にお近くのハローワークにお越しください。(宇都宮は要予約)



お問い合わせ先

公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター  
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F



## 訪問看護師養成講習会を受講して

訪問看護ステーション ゆうすい 小倉 由紀子



訪問看護師としての経験が浅く、日々これでよかったのかと不安を持ち訪問看護の難しさを感じていた時、上司の勧めもあり受講を決めました。

eラーニングや講義・演習から基本的知識・技術を習得する事ができ、日々の業務を振り返るきっかけともなりました。包括支援センター実習では業務内容、在宅ケアシステムについての知識を得ることができ、在宅での仕事における連携の重要性を学びました。ステーション実習では、関わり方やケア、書類も含め訪問看護の実際を見せていただきました。また様々な話をお聞きし、日頃の業務の中で特に悩んでいたターミナル期での関わり等、学びの多い充実した実習でした。

講習会では他の事業所・病院で働く様々な立場の方との情報交換や学びを共有できる、貴重な場でもありました。

訪問看護師の需要が高まっている中、養成講習会の学びを生かして日々研鑽し、在宅での生活が満たされるような関わりができる看護師になりたいと、決意を新たにしました。



講義



リハビリテーション看護技術



閉講式

## 平成28年度「看護の出前授業」

現場で活躍する看護職員が中学生や高校生等に看護の魅力や看護への道、命の大切さ等をお届けする「看護の出前授業」。聴診器を使った簡単な看護技術体験等も行われ、生徒たちの医療や看護職に対する関心へとつなげています。

今年度は県内25校（参加者約4,800名）で行われました。

（実施数：平成28年12月現在）



### 受講者の感想

将来、看護師志望です。看護師への道のりが詳しく分かったので頑張りたいです。

中学校を卒業したら高校や大学で看護の技術や知識を身につけ、患者さんに「ありがとう」と言ってもらえるような立派な看護師になりたいと思いました。

聴診実習で、心臓や肺の音の見分け方などを教えていただき勉強になりました。

大変な思いをして産み育ててくれた両親に感謝し、自分を大切にしたいです。





## 平成28年度「ふれあい看護体験」を実施しました。

今年度の「ふれあい看護体験」は、5月から8月に開催し、県内42施設で、832名（中学生2名、高校生828名、一般2名）の参加がありました。「看護の心をみんなの心に」をキャッチフレーズに“看護の魅力”を感じていただけたのではないのでしょうか。お忙しい中、体験受け入れをしていただいた施設の皆様、ご協力ありがとうございました。

### 体験者の感想より

- 看護師さんに「この仕事は人の気持ちに寄り添う仕事」と教えていただきました。看護系の大学に進学します。
- 初めてナース服を着て、わくわくしたと同時にとても緊張しました。私も患者さんと笑顔で触れ合える看護師になりたいと思います。
- 改めて看護師という仕事の魅力を実感し、看護師になりたい思いが一層強くなりました。

### 体験風景



獨協医科大学病院



自治医科大学附属病院



宇都宮中央病院

平成29年5月13日(土)

## 第31回栃木県看護大会 第27回「看護の日」記念行事を開催!

### 「心にのこる看護エピソード」を募集します。

栃木県看護協会は初の試みとして「心にのこる看護エピソード」を募集します。21世紀の超高齢化社会を支えていくためには、「看護の心・ケアの心・助け合いの心」を私たち一人一人が分かち合うことが必要です。

「健康であること」は一生の願いですが、誰もが生まれてから死を迎えるまで「看護」にふれる機会はあると思います。その中で体験した「心にのこる看護エピソード」をぜひ聞かせてください。

「あの時、あの場所で、こんな言葉に支えられ、今はこんなに元気になったよ」  
「看護師の私だから言える看護体験」

一生の思い出となった、心温まる体験を **あなたの言葉** で投稿してみませんか？  
なお入賞作品は平成29年5月13日（土）、第27回「看護の日」記念行事で、司会者による朗読と表彰を行います。ご応募をお待ちしております。



応募締切

平成29年3月15日(水)必着

### 「栃木県看護大会」小冊子への有料広告募集中!

看護職関係者や県民の方々、約1,600名に配布する小冊子へ広告を掲載しませんか？

広告申込締切

平成29年2月28日(火)

★詳しくは、栃木県看護協会ホームページをご覧ください。

<http://www.t-kango.or.jp/>



お問い合わせ先

公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター  
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F  
E-mail : tochigi@nurse-center.net

☎028-625-6141(代)  
<http://www.t-kango.or.jp/>







# こんな活動しています シリーズ 12

## — がんリハビリテーション呼吸訓練の充実 —

地方独立行政法人栃木県立がんセンター  
慢性呼吸器疾患看護認定看護師 大関 幸子



がん患者の高齢化が進み、生活習慣病や肺炎・廃用症候群・認知症などが大きな問題になっています。平成22年度診療報酬改定以降、「がん患者リハビリテーション料」の算定「がんリハビリテーションガイドライン」の策定など、がんと共存するためにリハビリテーションの重要性が認知されてきました。診断の段階から予防的リハビリテーションが開始され、なかでも呼吸訓練は周術期リハビリテーションの重要な項目といえます。当センターでは、平成24年度より手術マネジメントセンターが開設され、術前に必要な指導や説明などを一元化しました。特に呼吸訓練は自作のDVD視聴や訓練器具を使用した集団指導を行い、呼吸器合併症を防ぐために取り組んできました。平成27年度より、COPD（慢性閉塞性肺疾患）や喘息、認知症、高度難聴などのハイリスク患者に対して、慢性呼吸器疾患看護認定看護師による個別指導の呼吸訓練を開始しました。個別指導のポイントは成功体験です。訓練後に痰の咯出が行えた場合などは術後も同様に実践可能であり、単なる呼吸法ではない事を理解していただけます。そして、呼吸訓練だけではなく、ADLの状況・誤嚥・せん妄や転倒などのリスクを確認、術後の注意点と対応策を検討し、外来から入院・退院までの継続した呼吸ケアを提供しています。また、多職種連携にて適宜情報の共有を行い、呼吸ケアや介入の方法も検討しています。今年度12月3日、当センターにおいて「がんとリハビリテーション」をテーマに看護研修会を開催し、院外施設からも多数ご参加頂きました。実際に呼吸訓練を体験してもらう事で、「ケアの参考になった」との意見も頂きました。今後も慢性呼吸器疾患看護認定看護師として継続した呼吸ケアを提供し、がん患者のQOLの維持・向上を目指していきたいと考えています。



# 私の職場の好きなところ

シリーズ **47**

栃木県保健医療生活協同組合 生協ふたば診療所 佐々木 紀子

## チームで支える



私たちの生協ふたば診療所は宇都宮市南部に位置する診療所です。外来と訪問診療を行っています。特に訪問診療は24時間対応で、在宅での看取りにも積極的に対応しています。0歳から高齢者まで地域の皆様の健康と暮らしを守るため日々奮闘しています。2階には、通所リハビリ・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所も併設しています。

私たちの職場の良さは、チームワークの良さです。小規模の診療所なのでコミュニケーションがとりやすい職場です。2階にある食堂はコミュニケーションをとる場でもありますが、同時に教育・学習の場ともなっています。ここでは、週2回のカンファレンスを行っています。カンファレンスには事務職員も積極的に参加しています。窓口で気づいたこと、待合室での状況などは貴重な情報です。地域包括支援センター・ケアマネージャー・リハビリスタッフと

の情報交換も重要です。困ったことがあったあらみんなでも相談しながら解決することを大事にしています。

これは診療所内だけにはとどまりません。地域の事業所とのカンファレンスにも積極的に取り組んでいます。連携している事業所とのカンファレンスは顔の見える関係となっています。

また、地域住民との交流も盛んです。年に1回「健康まつり」が開催されています。地域の皆様と一緒に楽しんでいます。今回は15回目の健康まつりでした。健康チェックだけでなく、模擬店を出したり、子どもたちの遊び場を作ったり一緒に遊んだり、地域の皆様と作り上げています。1日の最後は、地域の皆様と職員合同の寸劇です。時事問題を取り入れた寸劇は毎年好評です。診療所のチームワークの良さは、地域の皆様にも広がっていると思います。

栃木県保健医療生活協同組合の理念は『私たちは、組合員一人ひとりの健康を守り、病気や障がいがあっても希望をもって生きられる平和でいのちが輝く社会をつくりまします』。これからもこの理念のもとに頑張っていきます。

**募集のお知らせ**

♥「私の職場の好きなところ」の原稿を募集しています。

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4F 栃木県看護協会 広報委員会宛



一般の方へのコーナー

# ロコモってご存知ですか？

## ロコモティブシンドローム(ロコモ)とは？

**運動器（骨、関節、筋肉、神経、脊髄など）の障害のために移動機能の低下をきたした状態のことです。**

こんな症状、思い当たりませんか？

### 7つのロコモチェック

1



□片脚立ちで靴下がはけない

2



□家の中でつまづいたりすべったりする

3



□階段を上げるのに手すりが必要である

4



□家のやや重い仕事が困難である

5



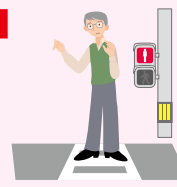
□2kg程度\*の買い物をして持ち帰るのが困難である  
※1リットルの牛乳パック2個程度

6



□15分くらい続けて歩くことができない

7



□横断歩道を青信号で渡りきれない

**1つでも当てはまれば、移動機能が低下している疑いがあります。**

## ロコモを防ぐ2つの「ロコトレ」を毎日続けましょう。

### バランス能力をつけるロコトレ「片脚立ち」

※左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。

転倒しないように、必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

床につかない程度に、片脚を上げます。



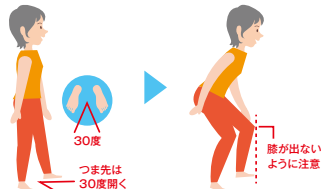
- 姿勢をまっすぐにして行うようにしましょう。
- 支えが必要な人は、十分注意して、机に両手や片手をつけて行います。



指をついただけでもできる人は、机に指先をつけて行います。

### 下肢筋力をつけるロコトレ「スクワット」

1 肩幅より少し広めに足を広げて立ちます。つま先は30度くらい開きます。



2 膝がつま先より前に出ないように、また膝が足の人差し指の方向に向くように注意して、お尻を後ろに引くように身体をしずめます。

※深呼吸をするペースで、5回～6回繰り返します。1日3回行いましょう。



机に手をつかずにできる場合は手を机にかざして行います。

スクワットができないときは、椅子に腰かけ、机に手をつけて立ち座りの動作を繰り返します。

### ポイント

- 動作中は息を止めないようにします。
- 膝に負担がかかり過ぎないように、膝は90度以上曲げないようにします。
- 太ももの前や後ろの筋肉にしっかり力が入っているか、意識しながらゆっくり行いましょう。
- 支えが必要な人は、十分注意して、机に手をつけて行います。

その他にも、なるべく歩く、階段を使うなど、今より10分多く身体を動かすことが、ロコモ予防につながります。毎日の生活に「+10（プラス・テン）」の習慣を！

# 味自慢

## 炊飯器で作るガトーショコラ!!



### ●材 料(1枚分)

板チョコ 4枚 卵 4個 砂糖(好みで) 小さじ5

### ●作り方

- 1 板チョコ4枚を手で小さく砕きながらビニール袋に入れ、湯煎にかける。指で押して粒をよく溶かす。
- 2 鉢とボールを用意し、卵4個を卵黄(鉢)と卵白(ボール)に分ける。卵黄は潰しておく。
- 3 卵白を泡立てながら砂糖を数回に分けて加え、角が立つ程度まで泡立てる。砂糖は好みで調整すると良い。
- 4 1のビニール袋の角を切り、溶けたチョコを絞り卵黄に流し込み、冷めて固まらないうちに箸で混ぜる。
- 5 4を3のメレンゲに加え、泡だて器で押し付けながら混ぜ合わせる。混ぜすぎて泡を消さないように注意する。
- 6 炊飯器の内釜に流し込み、数回ほど台の上でトントンと落として軽く空気を抜く。
- 7 炊飯器のケーキコース、ない場合は通常の炊飯で40分ほど焼く。
- 8 焼きあがったら釜ごと一旦取り出し、表面が少し冷めて縮むのを待つ。
- 9 皿の上に内釜をひっくり返して自然とケーキが落ちるのを待ち、内釜を外してそのまま自然に冷めるのを待つ。
- 10 ラップを被せ、冷蔵庫で少ししっとりさせたら完成。好みで生クリームをトッピングする。

料理提供者：国際医療福祉大学塩谷病院 A.O

### わたしの on-off

カメラレンズから見る素敵な風景との出会い。  
offの時は、そんな風景を求めて旅に出ます。  
これが私のエネルギー源です。



写真提供：済生会宇都宮病院 U・N

### 平成29年度入会申込 受け付け中!

入会申し込みは随時受け付け中です。新規・再入会等ご希望の方は申し込み用紙をお送りいたしますので、県協会会員担当までご連絡ください。また、既にご入会されている方は会員情報の確認・登録内容の変更などに便利な「キャリアナース」を是非ご利用ください。

会員専用ページ

キャリアナース

### 第31回栃木県看護大会 第27回「看護の日」記念行事 開催予定のお知らせ

期日 平成29年5月13日(土)  
時間 午前10:00から  
場所 栃木県総合文化センター メインホール 他

### 「寄付」募集のお願い

公益社団法人栃木県看護協会は、県民の健康な生活の実現に貢献するため、看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)の質の向上に向けて、様々な公益事業に努めています。

この公益事業推進のため当協会では ①質の高い看護人材育成のための教育・研修の充実 ②看護職が働き続けられるような職場の好環境づくり事業の支援 ③在宅医療推進での看護提供体制の整備の支援 — などを展開し、過疎地域も含め県内全域で訪問看護や居宅介護支援事業などの公益活動を強化しています。

当協会は1948(昭和23)年、看護職(保健師、助産師、看護師、准看護師)の有資格者による職能団体として設立されました。2012(平成24)年からは公益社団法人として、「より良い看護の提供」を目的に、看護者の資質向上と県民の保健医療福祉の向上に役立つ活動の拡大を図りながら、そのための政策提言も行っています。

これらの事業は、当協会の自己資金と看護職の資格を持つ個人が自主的に加入した会費で運営されています。今後さらなる拡大・充実が求められています。当協会の事業目的に賛同し、ご支援して下さる多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

寄付された方は税制上の寄付金控除として優遇措置が受けられます。詳しくは国税庁のホームページをご覧ください。アドレスは下記の通りです。

[https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/koho/kurashi/html/04\\_3.htm](https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/koho/kurashi/html/04_3.htm)

公益社団法人 栃木県看護協会 会長 渡邊 カヨ子

寄付金の使途	①質の高い看護人材育成のための教育・研修の充実事業 ②看護職が働き続けられる職場の好環境づくりの支援事業 ③在宅医療推進における看護提供体制の整備への支援事業 ④ナースセンター事業の強化
寄付金の対象	栃木県看護協会のご賛同して下さる一般の方々、法人・企業等。
寄付金の額	1口 3000円より。なお、金額の多寡にかかわらず、ありがたく承ります。
募集期間	継続的に募集しております。
申し込み先	寄付にご賛同いただける方は、栃木県看護協会事務局(☎028-625-6141)までご連絡ください。寄付の手続きについてご案内させていただきます。「寄付金申込書」はHPからもダウンロードできます。
個人情報	ご寄付頂いた方の氏名・住所(市町村名)を、ご寄付者様の了解を得られた方は栃木県看護協会ホームページの各種お知らせ欄「寄付者・その他」に掲載させていただきます。

### 編集後記

89号の表紙は、茂木の鎌倉山からの日の出です。神々しい朝日が象徴するように、2017年がみなさまにとって輝かしい年となりますようにお祈り申し上げます。(山口)